

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立御幸小学校
-----	-----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

給食残量は年々減少しているが、米飯献立時に残量が多い傾向がある。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ・給食残量を昨年度より減少させる。
- ・米飯献立残量を減少させる。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） 給食指導の充実

担任・栄養教諭による給食指導の充実

- ・個々に応じた配膳（体調や個人差に応じた配慮）
- ・食前，食後の挨拶
- ・三角食べの実施
- ・正しい箸の持ち方や，食器を置く場所，食器を大切に扱うこと
- ・食べることに集中する「もぐもぐタイム」の実施
- ・苦手な食べ物にチャレンジさせる声かけ
- ・「もう一口運動」の実施
- ・「今日の給食一口栄養指導」…郷土料理，地域の特産物，食材や栄養素等

【取組 2】（テーマ） 朝食内容の実態把握と改善に向けて

- ・金メダルの朝ごはん週間設定…年に 2 回，家庭での保護者取り組み（アンケート実施を毎年行うことにより朝ごはん習慣が定着し，保護者の朝ごはんに対する意識が高まった。）
- ・給食試食会…1 年生保護者への周知，依頼
- ・食育通信を発行…簡単朝食レシピ，ポイントを紹介。
- ・子ども料理教室…朝ごはんにも活用できる料理を実施
- ・給食放送…児童へのお知らせ（朝ごはんを食べよう）
- ・ミニ保健での指導…バランスのよい食事，朝ごはんの大切さについて

【取組 3】（テーマ） 給食委員会活動の充実

- ・給食に関心をもつ毎日の「栄養，給食放送」
- ・前日の残量と食器破損放送
- ・学級別残量，片づけ方チェックを行い，表彰，メダル作り
- ・給食委員による各学級への給食時間中の声かけ指導「残量，マナー」

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・教職員通信，保護者用食育通信，掲示資料を作成し周知
- ・キャッチコピー，レシピの応募
- ・給食放送，給食時間の指導
- ・親子料理教室，子ども料理教室による調理実習，試食
- ・自校の福山レシピ賞受賞作品を給食に活用
- ・学校給食週間中のパネル展，試食会実施（福山市全体行事）



5 取組に対する成果と課題

【成果】

○ 残量

- ・全体残量は昨年度より減少した。（昨年度2.2%，今年度1.8%）
- ・米飯献立残量が減少した。（今年度）

残量	パン献立	米飯献立
1学期平均	1.4%	2.3%
2学期平均	1.2%	1.8%
3学期平均	1.2%	1.2%

○朝食について

- ・アンケート実施を毎年行うことにより朝ごはん週間が定着し，保護者の朝ごはんに対する意識が高まった。（保護者感想より）

○委員会活動

- ・給食委員会活動の成果で，食器破損率が市内同規模校の中で最小となった。
- ・残量が減少した。

○ひろしま給食100万食プロジェクト

- ・ひろしま給食が家庭や児童に浸透すると同時に，広島県の特産物について理解を深めることができた。
- ・福山レシピ賞受賞作品を給食にとり入れることにより，給食に対してさらに関心をもつようになった。（レシピ賞受賞作品（混ぜごはん）の残量は全体で11人分，同週の混ぜごはんの残量は，28人分と激減した。）

【課題】

- ・昔ながらの和食献立に残量が多いことがある。
- ・ひろしま給食レシピ応募数が少ない。

5 今後の取組に向けた改善方策について

- ・残量の多い和食献立を今年度分から抽出し，残量率が下回るようにしていく。（献立アピール）
- ・養護教諭，担任と連携したミニ保健指導を年1回から2回にする。（養護教諭，担任との連携）
- ・ひろしま給食レシピ応募数を今年度より多くする。（養護教諭，担任との連携）
- ・レシピ募集を積極的に行い，献立に反映させる。